

広報 UNIFORM

第 24 号

発行所 黒埼村役場
発行人 清水 善 夫
印刷所 小野塚印刷所

昭和47年度予算は5億1,835万余円に

昭和四十七年度、一般会計予算など十九歳案を審議する。三月定例村議会は三月八日から会期十四日間の日程で招集され、三月二十一日提案された。全歳案は原案通り可決して終了した。

村長は開会日、三十分以内にわたり施政方針説明を行ない、昭和四十七年度予算編成では歳入・歳出ともに五億一千八三万五千円という本村初まって以来の大型予算となり、歳出については人件費一億九千八百七万円、村債償還の公債費六千四二〇万余円、率にして人件費二三・二%増、公債費について六六・六%の増となり、公債費に對し、一〇%以上の率

し尿処理場を建設

本村負担額は三千六百五十余万円に

を、地方財政対策の貧弱さを目につく投資的事業費一億九〇五万七千円の主な内容は、教育施設整備事業、黒中技術教室の増築、体育館昇降口改修、大野・黒鳥小の体育館の補修、木場小・ブルー更衣室及校地整備、山田小、学級増にもなう、プレハブ教室の増設工事等が主な事業である。また前年度に引き続き重点施策の一つとし



47年度第1回定例村議会

〈村の動き〉

2月未現在 (前月比)	
人口	17,479 +59
男	8,564 +20
女	8,915 +39
世帯数	3,918 +14
2月1日から末日まで (前月比)	
死亡	12
出生	32
婚姻	12

て、村道改良、都市排水事業費六千二百七万円となっており、年次の計画の基で早期完成をめざし事業推進をはかる。

し尿処理場を建設

最重要施策として、し尿処理場の建設事業であるが、当初本村に用地を求め事業を行なう予定であったが、色々の経緯から、両川地区に決定され、横越、亀田、新潟黒埼の四市町村による広域事業として、既に四十六年度事業として二億四千一七六万四千円が執行され四十七年度事業分として、七億一千五百六万二千円が予定され、市町村が負担金として納入する額二億七千八百六十二万二千円、組合債として計上される額三億五千九〇〇万円の負担割合として本村は一・二・五%の三千六百五十万六千円である。

歳入についてはグラフのとおりであるので割愛致します。特別会計の国保事業は歳入、歳出ともに一億三千万四千円と前年に

比較し、一千六百六十七万七千円の増となっている。これは本年二月に医療費の自然増などにより予算が増大したものである。

水道事業については、四十四年度より継続事業として実施中の第一回拡張計画に基づく年次計画を重点的に推進するもので主な事業として配水池一池、配水ポンプ一台配水管四二二メートル構内配管など四月中には使用できる状態である。

ガス事業については、ガス消費量の増加に伴う、ガス圧の低下地域に対する供給改善事業として導

管布設や基整圧器の増強を計画し需要に對応した、円滑な供給を図るとともに維持管理施設の整備と保安並びに需用者へのサービスの向上と経営の健全化などを考慮し運営にあたる方針である。予算の内容は事業収益六千六百一十五万円を見込み、費用五千八百三十二万円を以て三・三%、費用九・三%とそれぞれ増となっている。

農業共済事業は収支ともに一千九百一十千円です。

以上が昭和四十七年度一般会計当初予算及び、国保、水道、ガス農業共済特別会計の主な概要です。

